

オペレーションズ・リサーチ—経営の科学—

—バックナンバーのご案内—

1999年 (Vol. 44)	1月号 都市構造と省エネルギー
12月号 少子・高齢化問題II	1996年 (Vol. 41)
11月号 企業事例	12月号 ゲーム理論の新たな展開と最近の適用例
10月号 パートナリング	11月号 オプション理論とその周辺
9月号 少子・高齢化問題	10月号 グループウェアとワークフロー
8月号 ソフトウェア信頼性評価法の新潮流	9月号 ピーク電力の予測
7月号 医療システムとOR	8月号 論文・事例研究 論文・研究レポート
6月号 サプライチェーンマネジメント	7月号 統計モデル選択
5月号 大域的最適化	6月号 ユーザのための数理計画入門
4月号 地球環境問題, わが国の戦略	5月号 知的生産性向上
3月号 スポーツの戦術とマネジメント	4月号 巨大プロジェクト
2月号 不動産の再生と不動産学への期待	3月号 高校生のためのOR
1月号 AHPの発展経緯と最近の話題	* 2月号 危機管理と対策
1998年 (Vol. 43)	* 1月号 テクノロジー・マネジメント
12月号 データウェアハウスとデータマイニング	1995年 (Vol. 40)
11月号 企業事例	12月号 DEA 事例研究
10月号 GIS (地理情報システム) の活用事例	11月号 CALS
9月号 BOT—巨大プロジェクト実現の組織	* 10月号 ソフトウェア/アルゴリズムの権利保護をめぐる
8月号 季節変動のマネジメント	* 9月号 スキャンパネルデータを用いたシェア予測
7月号 社会科学における計量・数理分析の潮流	8月号 論文・事例研究 論文・研究レポート
6月号 自然災害と防災研究	7月号 情報化社会における最適化
5月号 待ち行列理論の最近の応用	6月号 エネルギー業界と規制緩和
4月号 官庁統計	5月号 CIMのOR
3月号 公益事業における規制緩和	4月号 システムの性能評価と信頼性
2月号 ユーザのための数理計画応用	3月号 情報通信ネットワークのマネジメント
1月号 業務改革のための原価管理: ABCとABM	2月号 開発方法論
1997年 (Vol. 42)	1月号 OR: 21世紀にむけて
12月号 高校生のためのOR(2)	1994年 (Vol. 39)
11月号 電子マネー	12月号 APORS 会議
10月号 組織システム論の新たな展開	11月号 ORソフト—統計パッケージ
9月号 多主体複雑系のパラダイム	10月号 ORとシステムモデリング
8月号 通信・情報処理分野におけるORの実践	9月号 予測事例
7月号 組織知能と情報ネットワーク企業	8月号 リエンジニアリングの理念と本質
6月号 文科系のためのOR教育	7月号 ソフトウェア/アルゴリズム特許をめぐる
5月号 ORの適用事例	6月号 企業モデルと評価指標
4月号 ビジネスプロセスの分析手法	5月号 都市の省エネルギーをめぐる
3月号 流通の今日的課題と展望	4月号 マーケティングモデルの展開
* 2月号 企業事例—トヨタの生産システム	3月号 配送のOR

* 印は品切れ、価格 950 円 (本体 922 円) [Vol. 42 4月号からは定価 970 円 (本体 924 円)]

(社) 日本 OR 学会

〒113-0032 文京区弥生2-4-16 学会センタービル
Tel. 03(3815)3351(代) Fax. 03(3815)3352

平成 12 年 1 月

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会
会 員 各 位

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会

「OR企業フォーラム」のご案内

ーネットワーク環境下のグローバルビジネスー

平素は当学会の諸活動に対し格別のご支援・ご協力を賜りまことにありがとうございます。お蔭様でORの諸活動は産・官・学各界にわたり、さらなる充実を目指した広範な取り組みが展開されつつあります。

その一環として1987年より「OR企業サロン」を創設し実施してまいりました。これは賛助会員企業のトップ経営者／ミドル管理者を主な対象として、当学会から効果的な経営戦略の策定・実施に真に役立つようなORおよび関連領域の話題を提供し、あわせてご参加の皆様の交流を深めていただくことを目的とした企画であり、幸い多数の方々からご好評をいただいております。

「企業トップ経営者とOR学会員が現実の社会・企業の動きについて語り合う」この場を通じて、OR研究の対象であるオペレーションそのものの理解をさらに深め問題解決につなげて行くべく、昨年度から名称を「OR企業フォーラム」と改めております。

さて今日、急速に進展する情報ネットワークのもとあらゆる産業分野で競争の舞台が「グローバル化」し、新たなビジネス機会が生まれるとともに企業運営上これまでの価値観・通念が通用しなくなっています。今年度は「ネットワーク環境下のグローバルビジネス」を統一テーマとして、各界の第一線でご活躍のゲストのお話を中心にこの課題について検討してまいります。これは従来ORとは関係の薄かった方々にも必ずや興味をお持ちいただける企画であろうかと存じますので、経営管理者の方々に奮ってご参加いただけますようご案内申し上げます。

平成 11 年度第 3 回のフォーラムは、裏面の要領により 12 年 1 月 24 日に大阪の弥生会館で開催いたしますので、貴社関係部署にもお声をおかけ願えれば幸いです。

企画・運営：「OR企業フォーラム」企画委員会

申込先

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

TEL(03)3815-3351 FAX(03)3815-3352

平成11年度第3回OR企業フォーラム（大阪）

日時：平成12年1月24日（月） 午後3:00～7:50

①大阪大学大学院工学研究科教授 白川 功 氏（午後3:00～4:30）

演題：「産学連携ベンチャーの起業：その背景と現実」

要旨：プリント基板で実現できるシステムを単にシリコン上に焼くだけでは革新的なデバイスは創出できず、斬新なシリコン・システムの発想が重要である。このためには、知力と腕力を備えたアーキテクチャ設計者が必須である。この人材面の発掘と育成等、大学側が積極的に関与して発足させた新会社の主要な狙いと背景について述べる。

②ワタベウェディング株式会社代表取締役社長 渡部 隆夫 氏（午後4:40～6:00）

演題：プライダル企業のグローバル戦略

要旨：戦後、京都で創業した貸衣裳店がたゆまざる新商品、新サービス、新市場を求めて積極的な経営戦略を展開し、現在までに国内43店舗、海外20店舗1工場に拡大。既存業種を顧客ニーズでブレークスルーして発展、この新業態づくりと国際化など企業経営のあり方について述べる。

開催要項

場 所：大阪弥生会館
大阪市北区芝田2-4-53
tel.06-6373-1841

日 時：平成12年1月24日（月）
午後3:00～7:50

（懇親会を6時過ぎから行います）

参加資格者：OR学会会員（参加費無料）
（個人正会員、学生会員、賛助会員）

非会員の方も参加可能です。但し、これを機会に
会員になられることを希望致します。

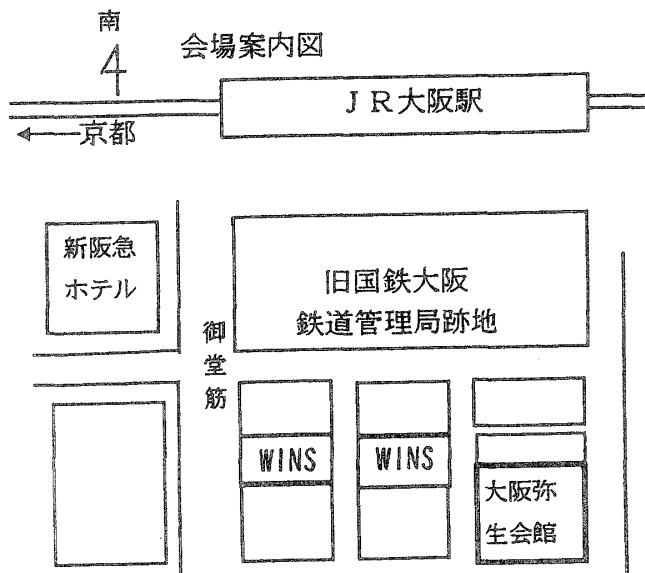
——参加お申し込みの要領——

参加ご希望の方は下記の申込書にご記入の上
事務局宛てにお送り下さい。なお、会場の都合
により参加者は100名に限らせて頂きます。

賛助会員の申し込みは各企業3名以内に限らせて
頂きます。

ご参加受付のご返事は参加証の発送をもって
代えさせて頂きます。

キリトリ



——会場までの交通機関——

JR大阪駅より徒歩5分

地下鉄御堂筋線、阪急梅田駅より徒歩3分

To: (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 FAX (03) 3815-3352

平成 年 月 日

「OR企業フォーラム」申込書

第3回《大阪》平成12年1月24日（月）午後3:00～7:50

会員種別 いずれかに○印をして会員 番号を記入して下さい。	御氏名 (勤務先・所属大学)	住 所 (連絡先)
個人正会員 (会員番号) ()	()	〒
学生会員 (会員番号) ()	()	TEL
賛助会員 (会員番号) ()	()	FAX
非会員	()	